

令和 6 年度 萩博物館 下半期企画展広報宣伝及び開館 20 周年記念企画関連業務 に関する公募型プロポーザル実施要領

1. 趣旨

この実施要領は、令和 6 年度に萩博物館特別展・企画展開催実行委員会（以下、「実行委員会」もしくは「発注者」という。）が開催する令和 6 年度 萩博物館 下半期企画展広報宣伝及び開館 20 周年記念企画関連業務の受注候補者を、公募型プロポーザル方式により選定するために必要な事項を定めるものである。

2. 主催者

萩博物館特別展・企画展開催実行委員会

3. 業務の概要

(1) 名称

令和 6 年度 萩博物館 下半期企画展広報宣伝及び開館 20 周年記念企画関連業務

(2) 目的

下半期に実行委員会が実施する秋期企画展「幕末維新の秋-小川コレクションから-」（会期：令和 6 年 10 月 3 日～12 月 8 日）、冬期企画展「ふるさと萩の承継-阿武川流域の暮らし-」（会期：令和 6 年 12 月 21 日～令和 7 年 3 月 2 日）、翌春期企画展「シン・萩の世界遺産」（会期：令和 7 年 3 月 15 日～7 月 6 日）の各企画展において各ターゲット層の展示利用を促進するとともに、開館 20 周年記念イベント（開催期間：令和 6 年 11 月 9 日～11 月 17 日）を通じて博物館の堅いイメージを払拭し、「博物館は知的探求心や好奇心を満たすことができる楽しい場所」であることアピールすることで下半期の来館者数 20,000 人の達成を目指す。

(3) 内容

萩博物館は令和 6 年 11 月 11 日に開館 20 周年を迎えることから、これに関連して下半期に実施する展示会やイベント等を通じて萩博物館のにぎわいを創出する業務を実施する。具体的には、実行委員会が下半期に萩博物館内で実施する各企画展や開館 20 周年記念イベントの広報宣伝及び、開館 20 周年版のホームページの制作、開館 20 周年記念イベントで販売するミュージアムグッズの開発一式を行う。詳細は別紙仕様書による。

(4) 期間

契約開始日から令和 7 年 3 月 24 日（月）まで

4. 提案上限額及び配分

金 3,700 千円（消費税および地方消費税（以下、「消費税」という。）を含む。）

なお、予算は、現地説明会で配布予定の仕様書に掲載されている業務内容 5-（1）下半期展示会及び開館 20 周年記念企画の広報宣伝、5-（2）開館 20 周年記念版ホームページの制作、5-（3）当館オリジナルミュージアムグッズの開発をそれぞれ 2：2：1 の割合で配分されることが望ましいが、その限りではない。

5. 企画提案の内容

(1) 下半期展示会及び開館 20 周年記念企画の広報宣伝案

下半期に実施予定の各展示会及び開館 20 周年記念イベントにおいて、金銭的・時間的制約を考慮し、各ターゲット層へ効果的に訴求できる広報戦略案を下記の前提を押さえて提案すること。

- ア. 秋期企画展「幕末維新の秋-小川コレクションから-」は、山口県の旧長州藩領に属する地域住民及び近隣県民、もしくは日本全国に点在する幕末の歴史に関心の高いアダルト・シニア層をメインターゲットとする。当業務とは別に、山口県内の社会教育施設や商業施設を中心にチラシ 3 万枚・ポスター 300 枚を配布する広報宣伝を実施する予定である（詳細は参考資料①を参照）。
- イ. 冬期企画展「ふるさと萩の継承-阿武川流域の暮らし-」は、萩市及び山口県内の川上地域の人たちをはじめとする萩市民、離村者、および離島出身者、田舎の暮らしに価値を見出す人たちをメインターゲットとする。当業務とは別に、山口県内の社会教育施設や商業施設を中心にチラシ 2 万枚とポスター 300 枚を配布する広報宣伝を実施する予定である（詳細は参考資料②を参照）。
- ウ. 翌春期企画展「シン・萩の世界遺産」は、山口県内及び近県の世界遺産に興味・関心のあるコア支持層や、家族で萩へ日帰りや泊りで「楽しみ」「学び」を兼ねて旅行したい人々、学習素材として活用したいと考える中学校や高校などの教員とその生徒をメインターゲットとする。当業務とは別に、山口県内の社会教育施設や商業施設を中心にチラシ 2 万枚とポスター 300 枚を配布する広報宣伝を実施する予定である（詳細は参考資料③を参照）。
- エ. 開館 20 周年記念イベントは、これまでに当館に訪れたことがある人々だけでなく、博物館の敷居を下げ、新規固定客となり得る萩市及び近隣市町の親子層をメインターゲットとした博物分野のワークショップを実施する予定である。なお、当業務内で萩市及び近隣市町へ配布する開館 20 周年記念イベントのチラシデザインを制作する予定であるが、これに加えて別の広報手段を提案すること。

(2) 開館 20 周年記念版ホームページビジュアル案

当館のホームページは開館以来、大きなデザイン変更が加えられておらず、現在のインターネット社会から鑑みるとデザインが古く、ホームページ単体で閲覧者の来館意欲や利用意欲を高める効果は薄い状況にある。このことを背景とし、当館のホームページを閲覧した人の来館・利用意欲を高めることができるホームページデザイン案を、トップページ及び閲覧者による利用が多いページ（開館情報ページ、常設展紹介ページ、教育普及ページ、調査研究ページ）から 1 つ以上選択し、受注者側の運用上の利便性も考慮して提案すること。

(3) オリジナルミュージアムグッズデザイン案

博物館におけるミュージアムショップは「第2の展示室」とも言うべき存在で、展示を観覧して得られた感動をグッズとして自宅に持ち帰ることができるものである。このことを念頭に、来館者が当館ミュージアムショップで買い物をすることで来館満足度の向上につながるようなミュージアムグッズデザインを 1 案以上提案すること。

(4) 業務実行スケジュール

別紙仕様書に記載されている業務内容を実行するためのスケジュールを提案すること。

(5) 業務実施体制

別紙仕様書に記載されている業務内容を実行するための人員体制について提案すること。

6. 参加資格要件

この公募型プロポーザルに参加できる者は、次に掲げる要件の全てを満たす者とする。

- (1) 山口県内または隣接県（広島県・島根県・福岡県）に本店・支店・営業所又はその他の事業所を有する企業、NPO 法人、その他の法人等であって、委託事業を的確に遂行するに足る能力を有する者。ただし、宗教活動や政治活動を主たる目的とする団体等や、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）又は暴力団の構成員（以下「暴力団員」という。）の統制下にある団体等でないこと。
- (2) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。
- (3) 会社更生法（平成 14 年法令第 154 号）に基づく更生手続き開始の申し立て又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づく更生・再生手続き中でない者。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団又は暴力排除条例等に該当しない者。
- (5) 国税、地方税を滞納していない者。
- (6) 法人税並びに消費税及び地方消費税を滞納していない者。
- (7) 過去 3 年間（令和 3 年以降）における類似業務を少なくとも 1 回以上実施した実績を有すること。
- (8) 萩市競争入札参加資格を有する登録業者であること。もしくはこの先のプロポーザル審査会（8 月 9 日）までに萩市競争入札参加資格を取得する見込みがあること。

7. 問合せ先・提出先

萩市 商工観光部 萩博物館内

萩博物館特別展・企画展開催実行委員会事務局 担当：川原・國弘

〒758-0057

山口県萩市大字堀内 355 番地

電話：0838-25-6447 FAX：0838-25-3142

Email：muse@city.hagi.lg.jp

8. 参加表明の方法

実施要領を閲覧した後、当プロポーザルへの参加を決定した者、及び参加検討の意思のある者は、下記の要領で書類を提出すること。

(1) 提出書類

ア．参加表明書 1 部（様式第 1 号）

イ．事業者概要及び事業実績 10 部（様式第 2 号）

※ただし、電子データで提出する場合は 1 部のみ提出すること。

(2) 提出方法

持参、郵送、FAX、E-mailや大容量ファイル送信サービス等による電子データの提出をすること（提出した際は電話で確認すること。）。なお、土曜日、日曜日、祝日、振替休日は、提出物の受け付けや電話対応は行わない。

(3) 提出期限

令和6年7月10日（水）正午（必着）

(4) その他

- ア. 書類の作成や提出に係る費用は提案者の負担とする。
- イ. 書類提出後、個別事項に疑義がある場合は、実行委員会から質問することがある。
- ウ. 提出後の書類を事務局が点検した結果、参加資格要件を満たさないと判断された場合や、虚偽の記載があった場合は、下記の現地説明会及び当プロポーザルへの参加は認められない。
- エ. 後になって書類に虚偽の記載が発見された場合や、下記11-（1）-ウの納税証明書等が期日までに提出されなかった場合も、当プロポーザルへの参加が認められなくなるので注意すること。
- オ. 参加表明の後に当プロポーザルへの参加を見送ることになった者は、辞退届（任意様式）を上記7の提出先へ提出すること。

9. 現地説明会の実施

上記8の参加表明をした者は、下記の現地説明会に参加すること。現地説明会では、当業務の仕様書を配布し、実行委員会事務局から特別展に関する補足情報、展示予定会場、設備、什器等の説明を行う他、質疑応答を行う。

(1) 実施日時・場所

令和6年7月11日（木）14時 萩博物館 講座室

(2) その他

- ア. 現地説明会は参加表明者全員に対し合同で行う。
- イ. 仕様書及び参考資料、企画提案書鑑（様式第3号）、質問書（様式第4号）は、現地説明会参加者に配布する。
- ウ. 現地説明会に参加した後、当プロポーザルへの参加を見送ると判断した者は、上記8-（4）-オの辞退届の提出と合わせ、仕様書及び参考資料を上記7の提出先へ返却すること。
- エ. 期日までに参加表明をしなかった者や、資料を提出しても内容により資格が認められなかった者は、現地説明会を含めそれ以降のステップに参加できない。
- オ. 上記8にて当プロポーザルへの参加資格が認められなかった者は、現地説明会への参加は認められない。

10. 質問の受付

- (1) 当プロポーザルの実施内容等に質問がある場合は、質問書（様式第4号）を作成し、令和6年7月29日（月）正午までに、上記7の問合せ先にて、持参、郵送、FAX、E-mailや大容量ファイル送信サービス等による電子データの提出により受け付ける（送信した際は電話で確認すること。）。なお、基本的に質問は土曜日・日曜日・祝日及び振替休日は受け付けない。
- (2) 質問者には、質問後数日以内に文書等で回答するとともに、質問及び回答内容を萩博物館ホーム

ページに掲載する。(URL : [https://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku /index.htm](https://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/index.htm))。

11. 企画提案にかかる書類の提出方法

上記 8 にて当プロポーザルへの参加資格が認められ、上記 9 の現地説明会に参加した者は、下記の要領で書類を上記 7 の提出先へ提出することができる。

(1) 提出書類

ア. 企画提案書 1 通及びその写しを 10 部

「様式第3号」を鑑とし、企画案は鑑を除いてA3もしくはA4用紙に片面10枚以内、または両面5枚以内にまとめて提出すること（企画提案の内容を補足する参考資料を含む。）。また、企画提案書のPDFもE-mailや大容量ファイル送信サービス等により提出すること。なお、企画提案書は1者につき1案までとする。

イ. 受託費用見積書 1 通及びその写しを 10 部

経費（企画構成経費、デザイン費、制作費、編集費、維持管理費、設営費、撤収費等）の明細を算出し、その経費を記載すること。消費税を差し引いた金額で見積り、消費税相当額込みの金額も括弧書きで併記すること。

ウ. 納税証明書の原本または写し（国税、地方税の滞納がないことの書類）1 通

(2) 提出方法

持参、郵送、FAX、E-mail や大容量ファイル送信サービス等による電子データの提出のみ受け付ける（提出した際は電話で確認すること。）。

(3) 提出期限

令和 6 年 8 月 5 日（月）正午（必着）

(4) その他留意事項

ア. 書類等の作成及び提出に係る費用は提案者の負担とする。

イ. 選定された者の企画提案書に係る著作権及び肖像権については、契約締結時に発注者に移転する。選定されなかった者の企画提案書に係る著作権及び肖像権については提案者に帰属する。企画提案書に係る著作権及び肖像権について問題が生じた場合は、提案者が解決するものとする。

ウ. 企画提案書等の提出後、個別事項に疑義がある場合は、実行委員会から質問することがある。

エ. 参加資格要件を満たさない者が提出した企画提案書等及び虚偽の記載がなされた企画提案書等は無効とするとともに、選定の取り消しを行うことがある。

オ. 企画提案書は 1 者につき 1 案とする。

12. 審査・選考の方法

(1) 令和 6 年度 萩博物館 下半期企画展広報宣伝及び開館 20 周年記念企画関連業務に係る業者選定審査会（以下「審査会」という。）を設置し、各社の企画提案書に基づきヒアリング（応募者によるプレゼンテーション及び質疑）を実施し、審査を行う。

ア. 実施日時 令和 6 年 8 月 9 日（金）午後 ※詳細は調整後別途連絡

イ. 実施場所 萩博物館 講座室（山口県萩市大字堀内 355 番地）

ウ. 実施方法

- (ア) 参加者においては提出した企画提案書を使用してプレゼンテーションを実施し、提案内容を説明する。また、これに対する質疑に応答する。事前に提出された企画提案書の内容に関すること以外の説明は認めない。
 - (イ) プレゼンテーションの順番は、企画提案書の提出順とし、時間割等は別途通知する。
 - (ウ) 各者のプレゼンテーションの後、質疑応答を行う。プレゼンテーションの時間は 1 者につき 15～20 分を予定しているが、詳細は調整後別途連絡する。
- (2) 審査会は、別途定める審査要領に基づき、各審査員が個別に審査採点し、その点数を合計する方法により得点を算出して最も高い得点を得た者を最優秀提案者（受注候補者）として選定し、最優秀提案者以外の者についても得点順に順位付けを行う。
 - (3) 審査会への参加に係る旅費等の費用は提案者の負担とする。
 - (4) 審査において次のいずれかに該当すると判明した場合、その提案者は失格とする。
 - ア. 提出書類に虚偽の記載があった場合
 - イ. 審査の公平性に影響を与える行為があったと認められる場合
 - ウ. 本実施要領及び関係法令において違反した場合

13. 審査結果の通知及び公表

審査結果（提案者本人の順位・得点、最高得点獲得者とその得点）は、提案者全員に文書で通知を行う。なお、審査結果に対する不服の申し立ては受け付けない。

14. 契約の締結

審査会による審査の結果、上記 12 により最優秀提案者に選定された者と契約締結の協議を行い、契約を締結する。この協議には、企画提案書の趣旨を逸脱しない範囲での内容の変更の協議を含む。協議が不調の時は、上記 12 により順位付けられた上位の者から順に契約の締結協議を行う。

15. 契約の変更

感染症や災害等の影響により、予定している特別展が中止または会期変更となることも想定され、これに伴う業務の延長や一部中止となる場合は、契約期間や委託料の契約変更を行うこととする。詳細については、契約前に協議を行い決定することとする。

16. 契約の解除

受注者の参加資格要件、企画提案書等に虚偽の記載等が発生したときは、契約を解除することができるものとする。なお、受注者の都合により、発注者が契約を解除するときは、受注者は違約金として契約金額の 10 分の 1 に相当する金額を発注者に支払わなければならない。

17. 契約までのスケジュール

契約の締結に至るまでの手続及び時期は次の予定とする。ただし、参加表明書等・企画提案書等提出期限以外は状況に応じて前後する場合がある。

- (1) 参加表明の案内：令和 6 月 7 月 5 日（金）

- (2) 参加表明書等の提出期限：令和 6 年 7 月 10 日（水）17 時（必着）
- (3) 現地説明会の実施：令和 6 年 7 月 11 日（木）14 時
- (4) 質問の受付期限：令和 6 年 7 月 29 日（月）正午（必着）
- (5) 企画提案書等の提出期限：令和 6 年 8 月 5 日（月）正午（必着）
- (6) 審査会の実施：令和 6 年 8 月 9 日（金）午後 ※詳細は別途連絡
- (7) 審査結果の通知：審査会の後 3 日以内（予定）
- (8) 企画提案等の協議：審査結果通知後ただちに
- (9) 契約締結予定日：8 月下旬

18. その他の留意事項

- (1) 使用する言語及び通貨は日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 提出期限までに参加表明書を提出しない者、現地説明会に参加しない者は、企画提案書等を提出できないものとする。
- (3) 発注者が配布する参考資料、仕様書、及びそれらの内容物を当業務の企画提案以外の目的で使用してはならない。
- (4) 企画提案書類等が提出期限までに提出されない場合は失格とする。
- (5) 上記の書類等の作成、提出及びヒアリング等に要する費用は、その一切を提出者の負担とする。
- (6) 提出された書類等は、返却しない。
- (7) 提出された書類等は、提出者に無断で使用しない。萩市は、本プロポーザル手続き及びこれに係る事務処理に必要な範囲において、これらの書類等の複製、記録及び保存を行う。
- (8) 提出書類の不達又は遅配を原因とする提出者の不利益が生じて、実行委員会はこの責を負わない。提出者は、電話もしくは E-mail の着信確認を行うなどの適切な対策を講じること。
- (9) 提出期限以降における書類や資料等の差し替え及び再提出は認めない。